

[号外]

2017年11月22日

発行

秋田県ペタンク連盟

秋田市卸町三丁目5番5号
(株式会社フロム・エー内)

TEL.018-864-3784

FAX.018-865-6006



第30回 全国健康福祉祭あきた大会 ねんりんピック秋田2017

秋田からつながれ! つらなれ! 長寿の輪

ペタンク交流大会報告



第30回全国健康福祉祭あきた大会を終えて

秋田県ペタンク連盟会長 五嶋 建二

平成27年10月、第28回全国健康福祉祭山口大会への視察から始まった第30回全国健康福祉祭あきた大会ですが、視察当初は会場に設営されたテントの数の多さに圧倒されました。秋田県でここまでやれるのか不安になりましたが、翌年第29回全国健康福祉祭長崎大会での視察には、落ち着いて細かなところまでチェックする事が出来、本県開催への自信に繋がることが出来ました。

順調な準備の中、想定外があったとすれば天候です。大会当日の朝に降り続いた雷雨には肝を冷やしました。しかし、雷雨も止み、水はけの良いグラウンドのお陰で予定通りに大会を開催することが出来ました。

試合が始まると相互審判という事もあり、大きなトラブルもなく進み、2日間の大会を無事終えることが出来ました。参加いただいた選手の皆様にとって心に残るあきた大会であった事と思っております。

今大会開催にあたって、岩手県ペタンク連盟の皆様には強化試合に協力していただき、更に審判員を派遣していただくなどお礼のことばもないほど感謝しております。他この大会にご協力いただいた全ての皆様に感謝を申し上げ大会の報告とさせていただきます。





緊張の監督者会議



強豪チームとの対戦もありました



様々な特設ブース



ペタンク交流大会開始式



一球で試合が左右します



掲示板にはいつもひとだかり

第30回全国健康福祉祭あきた大会に参加して

潟上市ペタンク協会 柳山徹

平成29年9月9日、第30回「ねりんピック秋田2017」に、ペタンク競技秋田県選手団の一員として参加し早くも二ヶ月が過ぎました。秋田県立中央公園陸上競技場での総合開会式は、各県選手団一万人が勢揃い、熱気にあふれました。あの時の感動は今でも忘れることが出来ません。そして、翌日から潟上市において開催されたペタンク競技には、全国から68チーム、272名が参加し技を競い合いました。

私達、「秋田潟上Aチーム」は、経験も浅く、太刀打ち出来るか心配していましたが、開催地ですから、地元の面目にかけても「予選突破」を目標に挑戦致しました。結果、ベスト16に入り優秀賞をいただきました。目標を達成し試合内容も何とか各県チームと互角に戦えたことも大きな自信となりました。

大会開催中も、各県選手と雨が降ったことも幸いし、いろいろ話が出来たことも大きな収穫でありました。中でも、福岡市の選手の皆さんは「ねりんピック」の常連さんで自分達の経験を語ってくれました。20年近くもペタンクを続けているという人達で「ペタンクをやっているお陰で大きな病気はしなかった。」と話され、明るく元気そのものでした。又、香川県チームの府内明見さんとも知り合う事が出来ました。香川県チームとは、決勝トーナメント第二試合で戦い、惜しくも10対11で逆転負けを期した相手ですが、同点で迎えた最後のメニューでは、お互いに譲らず、寄せ合いましたが、最後に相手方の投球に寄せられ、負けとなりました。その最後に投げた人が府内さんだったのです。大会中の会話ですので名前も知りませんでしたが、そのわずかの会話を心にとめられ、潟上市役所に電話をし、連絡を取ったと言うことでした。

その後届いた手紙によりますと、府内さんも経験は豊富で、10年前に「ねりんピック」に参加し、今回で二度目と言う事、練習も週4回行っているそうです。又、今回の大会での私達とのゲームもご主人と検討したと、書かれていました。そして全国大会で合いましょう。楽しいですよ。と言っています。

今回の大会で知り合った人達はペタンク競技について十分な知識と技能、そして経験を持った方々でした。今の私達とは異なる次元でペタンクを楽しんでいるようでした。

わずか、二年余りの経験と地元で開催される大会だから出てみたい。という単純な考えから出発した私達ですが、地元での予選大会、強化試合、そして本大会を経験し、又多くの人達と触れ合うなかで、ペタンク競技の楽しさ、奥の深さみたいなものが少しずつ分かって来たように感じております。

秋田県はペタンク競技が一般に余り知られていないと言われていますが、今回の「ねりんピック秋田2017」を契機に広く知られ、飛躍すると共に近い将来若い人達も大勢参加されて、各年代の人達が一同に会し楽しい大会が開催出来たらと期待しております。

